

- 問1 平安時代の末期、武士として初めて朝廷の最高職である太政大臣に任命され、一族で政治の実権を握った人物の名前として正しいものはどれか。
(2023年 静岡県公立入試 類似)
1. 源頼朝 2. 平清盛 3. 北条時政 4. 足利尊氏
- 問2 奈良時代には『万葉集』に見られるように、漢字の音や訓を日本語の表記にあてはめた「万葉仮名」が使われていましたが、平安時代になると、漢字を簡略化するなどして日本独自の文字が作られました。この文字が普及したことで、人々の感情や生活を細やかに表現できるようになった日本独自の文化を何と呼びますか。
(2019年 長野県公立入試 類似)
1. 天平文化 2. 弘仁・貞観文化 3. 飛鳥文化 4. 国風文化
- 問3 藤原道長が活躍した平安時代中期には、社会不安を背景に「念仏を唱えて阿弥陀如来にすがり、死後に極楽浄土へ生まれ変わる」という考え方が貴族から民衆にまで広まりました。この信仰を何といいますか。
(2024年 大阪府公立入試 類似)
1. 本地垂迹 2. 禅宗 3. 法華信仰 4. 浄土信仰
- 問4 平安時代、藤原道長やその子の頼通は、自分の娘を天皇のきさきとし、その子供を次の天皇に立てることで、天皇の外祖父として政治の実権を握りました。このような政治の形態を何といいますか。
(2024年 大阪府公立入試 類似)
1. 摂関政治 2. 公武合体 3. 院政 4. 執権政治
- 問5 平清盛は、かつての藤原氏が行った摂関政治の手法を取り入れて、自らの権力基盤を強化しようとしてしました。その具体的な方法として正しいものを選びなさい。
(2020年 佐賀県公立入試 類似)
1. 御成敗式目を制定し、武士や貴族の間に共通の裁判基準を設けた 2. 自分の娘を天皇の中宮（きさき）として入内させ、天皇との親戚関係を築いた 3. 大名や豪商に海外渡航を許可する朱印状を与え、貿易の利益を独占した 4. 諸国に守護や地頭を設置し、地方の軍事・警察権と徴税権を掌握した
- 問6 平安時代の古記録には、延延3年8月に彗星が現れたという記述や、長保元年に大内裏で火災が発生したという記録が残されています。これら的事実に関連して当時の元号が改められた背景として、正しい説明はどれですか。
(2026年 愛知県公立入試 類似)
1. 大内裏の火災によって国家の儀式が不可能になったため、天皇が交代し改元された 2. 彗星の出現や大規模な火災を不吉な予兆と捉え、それを断ち切るために改元が行われた 3. 彗星などの天体観測技術が向上したことを記念して、定期的に改元する制度が確立した 4. 災いが発生した際に、遷都を行う代わりに元号を改めて政治の刷新を図ることが通例だった
- 問7 788年に最澄（伝教大師）が比叡山に建立し、鎮護国家の思想に基づいて平安京の鬼門を守る役割も担った天台宗の寺院はどれですか。
(2018年 和歌山県公立入試 類似)
1. 延暦寺 2. 東大寺 3. 唐招提寺 4. 金剛峯寺
- 問8 保元の乱の背景から結果に至るまでの流れをまとめた資料において、乱が起こる前の政治状況を説明する記述として、空欄に当てはまる内容を選びなさい。
(2022年 鳥根県公立入試 類似)
1. 崇徳上皇と後白河天皇が、政治の主導権である院政の実権をめぐる対立していた。 2. 平氏が太政大臣の地位に就き、一族で官職を独占する専横的な政治を行っていた。 3. 地方の有力な武士たちが、朝廷の重税に反対して一斉に武装蜂起していた。 4. 鎌倉幕府の成立により、全国の武士を統制するための守護・地頭が設置されていた。
- 問9 平安時代末期、東北地方で栄えた奥州藤原氏のゆかりで建立された「白水阿弥陀堂」に見られる、当時の文化や宗教的背景について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。
(2018年 福島県公立入試 類似)
1. 武士の質実剛健な精神を反映し、装飾を極力排して禅宗の様式をいち早く取り入れた寺院として建立された。 2. 大陸との交易による富を背景に、宋の最新の建築技術を導入した大規模な瓦葺きの寺院である。 3. 阿弥陀如来にすがって死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う、浄土教（浄土信仰）の影響を受けて建立された。 4. 聖武天皇が仏教の力で国家を守るために全国に建立を命じた、国分寺の形式を忠実に再現している。
- 問10 歴史の学習において、平安時代に活躍した人物の事績をまとめた資料を作成したところ、一人の僧侶について「唐から帰国後に真言宗を開き、高野山を拠点として日本独自の密教を発展させた」という記述になりました。この人物に該当するのは誰ですか。
(2023年 徳島県公立入試 類似)
1. 道元 2. 空海 3. 最澄 4. 荣西
- 問11 平安時代中期、遣唐使の廃止などを背景に、日本の風土や生活に合わせた「国風文化」が生まれました。この時代に、漢字を簡略化したり一部を用いたりして考案された、日本語の音を表記するための文字を何といいますか。
(2016年 京都府公立入試 類似)
1. 梵字 2. 万葉仮名 3. かな文字 4. 甲骨文字
- 問12 平安時代中期、藤原氏の摂関政治が全盛期を迎えていた頃の文化について述べた文章として、正しいものはどれですか。
(2020年 秋田県公立入試 類似)
1. 聖徳太子によって、現存する世界最古の木造建築である法隆寺が建立された。 2. 藤原頼通によって、極楽浄土の様子を表現した平等院鳳凰堂が建立された。 3. 足利義満によって、北山文化を代表する金閣（鹿苑寺）が建立された。 4. 鑑真によって、唐の建築様式を伝える唐招提寺が建立された。
- 問13 11世紀末、後三条天皇のあとを継いだ白河天皇は、天皇の位を退いた後も「上皇」として政治の実権を握り続けました。それまでの藤原氏を中心とした摂政や関白による政治を抑えるために始まった、この政治形態の名称を選びなさい。
(2016年 山形県公立入試 類似)
1. 摂関政治 2. 親政 3. 院政 4. 武家政治
- 問14 701年に制定された、唐の法律にならって全国を治めるための仕組みを明確にした法典を何といいますか。この法典の完成により、二官八省の官制や租・庸・調などの税制が整い、天皇を中心とした中央集権的な国家体制が確立されました。
(2024年 長崎県公立入試 類似)
1. 十七条の憲法 2. 御成敗式目 3. 武家諸法度 4. 大宝律令

答え合わせ・解説

問1	答え 2 平清盛	保元の乱や平治の乱を経て武士の地位を向上させた平清盛は、1167年に武士として初めて太政大臣の位に就きました。彼は自分の娘を天皇のきさきにするなど、従来の貴族と同じような手法で権力を固め、平氏一族による全盛期を築きました。
問2	答え 4 国風文化	遣唐使の廃止などを背景に、日本の風土や生活に合わせた独自の文化が発展しました。これを国風文化と呼びます。この時代、万葉仮名を崩したり一部を取ったりすることで、日本独自の文字である「かな文字」が生まれ、和歌や物語などの文学が発展する大きな要因となりました。
問3	答え 4 浄土信仰	「末法思想」の影響で、現世での救いをあきらめ来世での幸せを願うこの信仰が流行しました。藤原道長が建立した法成寺や、その子の頼通が建立した平等院鳳凰堂は、この信仰に基づいて「この世に現れた極楽浄土」を表現しようとしたものです。
問4	答え 1 摂関政治	藤原氏は、天皇が幼いときには「摂政」、成人した後には「関白」という官職に就いて政治を動かしました。道長はこの地位を世襲化し、藤原氏の全盛期を築きました。これに対し、天皇が退位した後に上皇として政治を行うことを院政、鎌倉幕府で北条氏が行った政治を執権政治と呼びます。
問5	答え 2 自分の娘を天皇の中宮（きさき）として入内させ、天皇との親戚関係を築いた	平清盛は、娘の徳子（建礼門院）を高倉天皇の中宮（きさき）にすることで、後の安徳天皇の外祖父（母方の祖父）となり、天皇との血縁関係を背景に大きな政治的影響力を持ちました。これは平安時代に藤原氏が摂政や関白として権力を振るった際と同じ手法です。他の選択肢にある御成敗式目は鎌倉時代、朱印状は安土桃山・江戸時代、守護・地頭の設置は源頼朝による業績です。
問6	答え 2 彗星の出現や大規模な火災を不吉な予兆と捉え、それを断ち切るために改元が行われた	当時の人々は、彗星の出現を「天変」として、また大内裏の火災などを国家の危機として非常に恐れました。これらは社会不安に直結したため、元号を変える（改元する）ことで悪い流れを断ち切ろうとしました。明治時代以降の「一世一元の制（天皇一人につき元号一つ）」とは異なり、平安時代には天災や吉事などに応じて柔軟に改元が行われていたのが特徴です。
問7	答え 1 延暦寺	最澄は唐で仏教を学んだ後、比叡山に延暦寺を建立し、天台宗を広めました。延暦寺は、仏教の力で国家の平和を維持しようとする拠点となり、多くの僧侶を輩出しました。これは空海が高野山に建立した真言宗の金剛峯寺とともに、平安時代における新しい仏教の形として、国家の安定に寄与することを大きな目的の一つとしていました。
問8	答え 1 崇徳上皇と後白河天皇が、政治の主導権である院政の実権をめぐって対立していた。	保元の乱の根本的な要因は、天皇を退位した後の上皇が政治を行う「院政」の仕組みの中で、誰が最高権力者（治天の君）としての実権を握るかという争いにあります。この皇室内の対立に摂関家の内紛が結びつき、さらに武力解決のために源義朝や平清盛といった武士が動員されました。平氏が権力を独占するのはこの乱の後の出来事です。
問9	答え 3 阿弥陀如来にすがって死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う、浄土教（浄土信仰）の影響を受けて建立された。	平安時代末期には、末法思想の広がりとともに、念仏を唱えて極楽浄土への往生を願う「浄土教」が流行しました。白水阿弥陀堂は、奥州藤原氏の本拠地であった平泉の中尊寺金色堂や、宇治の平等院鳳凰堂などと同様、浄土教建築の代表的な遺構です。庭園と建物が調和した造りは、現世に極楽浄土を再現しようとした当時の考え方を反映しています。
問10	答え 2 空海	空海（弘法大師）は真言宗の開祖であり、紀伊半島の高野山を修行の場として選びました。一方、同時期に活躍した最澄は天台宗の開祖であり、近江国（滋賀県）の比叡山を拠点としています。栄西や道元は鎌倉時代に禅宗を広めた人物であり、時代背景が異なります。
問11	答え 3 かな文字	平安時代、これまでの中国文化を十分に吸収した上で、日本独自の文化である国風文化が成立しました。漢字を崩して書いた「ひらがな」や、漢字の一部をとった「カタカナ」からなる「かな文字」が使われるようになったことで、日本人の繊細な感情や生活の様子を表現できるようになりました。
問12	答え 2 藤原頼通によって、極楽浄土の様子を表現した平等院鳳凰堂が建立された。	平安時代中期には、藤原道長やその子の藤原頼通によって摂関政治が行われました。この時期、社会不安などを背景に「浄土信仰（浄土教）」が広まり、阿弥陀如来を祀って極楽浄土を地上に再現しようとする動きが活発になりました。その代表例が宇治に建てられた平等院鳳凰堂です。法隆寺は飛鳥時代、唐招提寺は奈良時代の建築物です。
問13	答え 3 院政	白河天皇が1086年に譲位して上皇となった後、独自の政務機関（院庁）を設けて政治を行ったことが始まりです。これは、天皇の母方の親戚（外戚）として権力を握っていた藤原氏（摂関家）の影響を排除し、天皇家自身が主導権を取り戻す目的がありました。
問14	答え 4 大宝律令	文武天皇の時代に完成したこの法典により、日本は法に基づく統治を行う「律令国家」としての歩みを本格化させました。それまでの慣習的な統治から、文書による組織的な行政運営へと移行した点が大きな転換点です。選択肢にある武家諸法度は、江戸時代に幕府が武士を統制するために出したものであり、この時代のものではありません。